

愛知県国際農友会だより

●平成 22 年度の活動を振り返って

●平成 22 年度の主な活動

- ◇平成 22 年度通常総会、◇アセアン農業研修生の受け入れ、◇海外派遣研修生の帰国報告・激励、◇海外派遣農業研修生の推薦、◇夏期経営研修会、◇国際農業者フォーラム

■発行日 平成 23 年 3 月 31 日

■発行人 愛知県国際農友会

平成 22 年度の活動を振り返って

～愛知県国際農友会活動について！～

会 長 天野 治（豊橋）



今年度の事業も、豊橋支部、安城支部の御協力の中、多くの会員の皆様の御参加をいただき、その目的を達成することができたと思います。度を超す夏の暑さ・冬の寒さは農作業に大変な負担をかけ、加えて T P P、原油高そして口蹄疫、鳥インフルエンザ等、次々と難問が発生します。皆さん、日本の農業・農家にとって頑張りどころ、正念場を迎えているのかもしれない。

ノーベル賞受賞者の根岸教授が「若者よ！海外に出よ！」と云われたのを大変心強く聞いていましたところ、今年、全国の研修希望者が久々に 100 名を越えました。本会もこの派遣事業に多くの意欲ある若者が参加し、その後、会員となってくれることを願い、啓発活動を続けていきたいと思ひます。

J A E C、国際農友会の総会の翌日、東北地方太平洋沖地震が起きました。多くの仲間が被災していると思ひます。我々の仲間は必ず立ち直ると信じますが、皆様も同期の仲間を励まし、応援して下さい。

最後に、関係機関の御指導・御協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆様の更なる御活躍、本会への御協力をお願い致します。

～フォーラムを終えて～

副会長 三嶋 秀和（安城）

平成 23 年 2 月 1 日、刈谷総合文化センターにて国際農業者フォーラムを開催しました。海外派遣研修 (S38 年米国) を経験されている株式会社ジェム（本社：熊本県）会長兼社長の新留勝行氏を招き、「ほんものならみんな幸せ ～これからの農業戦略 T P P～」をテーマに講演していただきました。

講演では、新留氏が派米から帰国後のサラリーマン時代に感じた農業への疑問、農薬や化学肥料が人体に及ぼす影響、そして自身が見てきた各国各地の農業の現状など、今までの経験を基に様々な角度から話をしていただきました。私たちがこれからの農業に対応していくにあたって参考になる内容が数多くありました。フォーラム後の交流会では新留氏を囲み、日頃我々が持っている疑問や未来の農業について話が盛り上がりると同時に、会員相互の意見交換がなされ時間が足りない程でした。

当日は平日にも関わらず、多数の会員の方々に出席いただきありがとうございました。今回のフォーラムが新鮮な情報や画期的な発想に触れる機会として、今後の皆様の発展における参考になることを期待いたします。

平成22年度の主な活動

■ 平成22年度通常総会

6月9日（水）、名古屋市の名古屋栄東急インで開催しました。

総会には、愛知県農林水産部長小出茂樹様を始め関係機関の方々に多数御出席いただき、海外派遣農業研修生の帰国報告会、アセアン農業研修生・技能実習生の歓迎会を行いました。

交流会では、多くの会員と研修生が海外の農業事情、今後の農業経営、研修の思い出などに花を咲かせました。愛知県からの最初の農業研修生である東海市の小島正雄さんも出席され、会員や研修生を暖かく励ましていただきました。



小島正雄さんによる激励

■ アセアン農業研修生の受け入れ

（社）国際農業者交流協会が実施している「アジア農業青年人材育成事業」により、本会の会員がアセアン諸国等の海外農業研修生を受け入れています。

本年度は本県にインドネシアから4名の青年が訪れ、4月23日から約10ヶ月間、本県の各会員宅に滞在し、研修されました。また、研修生に引き続いて技能実習生として合計3年間滞在されたワンチャイ・セーンワットさんとプラセート・セーンポーさんの2名は帰国され、農業に勤しむとのことで、日本で学んだことを生かしてほしいものです。

本会では、6月9日に海外農業研修生歓迎会を開催したほか、夏期経営研究会や国際農業者フォーラムにも研修生・の皆さんに参加いただきました。また、協会から地方研修を委託され、9月14～15日に、でんきの科学館や愛知県農業総合試験場、トヨタ自動車元町工場で見学・研修を行いました。

海外農業研修生と受入会員一覧

| 研修生氏名 | 受入会員（支部名） |
|---------------|------------|
| ミスバティン | 原 宜延（海部） |
| チャーヤデー | 平田正樹（西尾幡豆） |
| ヌルリス | 宮下優子（尾張東） |
| ムハマト イクサステイン | 山田貴史（尾張東） |
| ヌルビマン※ | 内藤完次（西尾幡豆） |
| ワンチャイ セーンワット※ | 横山賢一（尾張東） |
| プラセート セーンポー※ | 宮地勝利（西尾幡豆） |

※印は、技能実習生



地方研修（トヨタ自動車元町工場）



地方研修（農業総合試験場）

■ 海外派遣研修生の帰国報告会

平成 21 年 12 月に帰国した平成 19 年度海外派遣農業研修（アメリカ・コンビネーションコース）生の花井隆人さん、平成 22 年 3 月に帰国した平成 20 年度海外派遣農業研修（プラクティカルコース）生の田家一衡さん（スイス）、杉本宇志さん（ドイツ）、橋本涼さん（オランダ）の 4 方に、6 月 9 日の総会で研修内容を報告していただきました。また、9 月には平成 20 年度海外派遣農業研修アメリカ・コンビネーションコースに参加した早川久登さんが帰国されました。

研修の詳しい内容や感想などについては、6 月 1 日に予定している平成 23 年度通常総会で配付します平成 20 年度海外派遣農業研修生報告書「夢は大きく世界へ」を御覧ください。

海外派遣研修生帰国者

| 帰国者氏名 | 市町村 | 派遣先 | 帰国時期 | 研修報告タイトル |
|-------|-----|------|--------|----------------------------------|
| 田中 詩織 | 東郷町 | スイス | H22. 3 | 生産者と消費者をつなぐ小さなマーケット |
| 杉本 宇志 | 豊田市 | ドイツ | H22. 3 | ワインと研修生を育てるドイツの街 |
| 田家 一衡 | 豊明市 | スイス | H22. 3 | Hotel in Kerzers ～5 代目オーナーの経営日誌～ |
| 橋本 涼 | 豊明市 | オランダ | H22. 3 | 園芸先進国オランダから見た日本の農業 |
| 早川 久登 | 小牧市 | アメリカ | H22. 9 | 僕を育ててくれたアメリカ |

■ 海外派遣農業研修生の推薦に向けて

7 月 5 日に愛知県立農業大学校において事業説明会を開催し、(社)国際農業者交流協会の三浦さんから事業内容や研修風景を紹介いただきました。また、3 月に帰国した田家一衡さん（スイス）、橋本涼さん（オランダ）、平成 19 年度の研修生の跡治伴則さん（アメリカ）の 3 名から研修体験を語っていただきました。

8 月 10 日には推薦者選考会を実施し、三嶋副会長と豊橋支部の鈴木(裕)監事、鳥居理事、磯部会員が選考委員を務めました。

受験された 6 名の方々はいずれも優秀で、ただちに(社)国際農業者交流協会に推薦し、皆さん選考に合格されました。

■ 平成 22 年度海外派遣農業研修生の激励

平成 22 年度には、選考合格者のうち 1 名が派遣を辞退されましたが、ヨーロッパへ 1 名、アメリカへ 5 名が派遣されることになりました。2 月 1 日の国際農業者フォーラムでは、早川さんと細川さんに参加いただき、研修への抱負などを語っていただきました。

大きな夢を胸に、平成 23 年 3 月に、各研修先の国へ出発されました。いろんな体験や交流を通して多くのことを感じ、たくさんのことを学ぶことができるでしょう。

平成 22 年度海外派遣農業研修生一覧

| 氏 名 | 市町村 | 派遣先 |
|-------|-----|------|
| 前田 法子 | 刈谷市 | オランダ |
| 掛布 将司 | 一宮市 | アメリカ |
| 早川 拓吾 | 安城市 | アメリカ |
| 細井 弘貴 | 豊川市 | アメリカ |
| 伊藤 綾花 | 清須市 | アメリカ |



国際農業者フォーラムで抱負を語る早川氏と細川氏

■ 県農林水産部トップとの懇談会開催！

愛知県国際農友会では、初めて愛知県の農林水産部との懇談会を開催しました。

平成 23 年 1 月 12 日（水）にウィルあいちで開催し、農林水産部長、次長と農政に関する意見交換をするとともに、海外派遣農業研修生の派遣助成金並びに知事推薦の復活を要請しました。



県農林水産部トップとの懇談会の様子

その結果、海外派遣農業研修生の助成金は財政の厳しさから難しいが、知事推薦については前向きに検討していただけるなどの回答をいただくことができました。

■ 好評だった夏期経営研修会！

平成 22 年度の夏期経営研修会は豊橋支部が当番となり、8 月 4 日（水）に豊橋市神野新田町のホテル シーパレスリゾートで開催しました。会員とその家族、アセアン農業研修生など総勢 76 名が参加しました。

農友会恒例のビンゴゲームでは、商品として会員が持ち寄った農産物の他にテレビや家庭用テレビゲーム機も準備され、数字が読み上げられるたびに参加者は一喜一憂しました。

豊橋支部の皆様、お疲れ様でした。



楽しかった経営研究会

■ 国際農業者フォーラムの開催

本年度は、昨年度の西尾幡豆支部を引き継いで、安城支部が当番となり、2 月 1 日（火）に刈谷市総合文化センターで開催しました。

講演会は、新留勝行氏による「ほんものならみんな幸せ ～これからの農業戦略と TPP～」で、経験を基にした示唆に富んだ講演をいただきました。

夜の交流会では、新留氏を囲んで盛り上がると共に、海外派遣研修予定者の激励会とアセアンの農業研修生・技能実習生の報告会も行いました。三嶋副会長さん始め安城支部の皆様、本当にお疲れ様でした。

参加できなかった会員の皆さん、次回の国際農業者フォーラムには是非、御参加ください。



講演いただいた新留勝行氏